

学会記事

第3回徳島医学会賞受賞予定者紹介

徳島医学会賞は、医学研究の発展と奨励を目的として、第217回徳島医学会平成10年度夏期総会（平成10年8月31日、阿波観光ホテル）から設けられることとなりました。年2回（夏期及び冬期）の総会での応募演題の中から最も優れた研究に対して各期ごとに大学関係者から1名、医師会関係者から1名に贈られます。

第3回徳島医学会賞は次の2名の方々の受賞が決定いたしました。両名の方々には第220回徳島医学会学術集会（冬期）授与式にて賞状並びに副賞（賞金10万円及び記念品）が授与されます。

尚、受賞論文は次号（12月25日発行予定）に掲載いたします。

（大学関係者）



受賞者氏名：^{あらいひでかず}新井英一
生年月日：昭和46年5月18日
出身大学：徳島大学
所属：徳島大学医学部病態
栄養学講座
大学院博士後期課程
3年

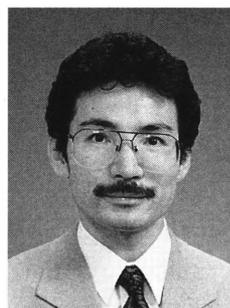
研究内容：1. 骨粗鬆症の遺伝的背景に関する研究
2. ビタミンD受容体遺伝子構造と機能
解明

受賞にあたり：

この度、私の研究が第219回徳島医学会学術集会におきまして、栄誉ある医学会賞に選出されましたことを、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。私は、栄養学科の学生時より、病態栄養学講座の武田教授のもとで、「ビタミンD受容体遺伝子と骨代謝」に関する研究に励んでまいりました。現代社会の大きな問題になっている骨粗鬆症の遺伝因子を明らかにしたうえで、生活習慣を改善して発症を予防できないかと考え、研究を行ってまいりました。今後も生活習慣病の病態解明および予防を視野に入れた栄養学研究を続けていく所存ですので、ご指

導の程よろしくお願いたします。最後になりましたが、共同研究者ならびに終始御指導、御助言を賜りました病態栄養学講座の武田英二教授ならびに宮本賢一助教授にこの場をおかりしまして深謝いたします。

（医師会関係者）



受賞者氏名：^{かねだやすひろ}兼田康宏
生年月日：昭和38年4月5日
出身大学：徳島大学
所属医師会：阿南市医師会
勤務先：医療法人 藤井病院
診療科目：精神神経科

研究内容：1. 向精神薬の神経内分泌に及ぼす影響に関する研究
2. 精神障害にみられる神経内分泌学的異常に関する研究
3. 精神症状の評価尺度に関する研究

受賞にあたり：

この度、我々の研究発表に対し栄えある第三回徳島医学会賞をいただくこととなり、望外の喜びと共に、関係各位、とりわけ本研究発表に対し評価をいただいた諸先生方に対し、厚く御礼申し上げます。

私は、日頃使用している向精神薬の副作用、特に神経内分泌に及ぼす影響に注目し、診療の傍ら、細々と研究を続けております。大学を離れて一般病院に勤務しておりますと、必然的(?)に日常診療に重点が置かれてしまい、研究はおろそかになりがちです。しかしながら、今回の受賞を励みとして、さらに臨床医として患者に直に還元できるような研究（精神神経科医としては、精神分裂病を解明することが大目標ではありますが）を、診療・教育と共に三位一体、地道に続けてゆく所存でありますので、諸先生方におかれましては、今後とも変わらぬ御指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、共同研究者の諸先生方ならびに徳島大学医学部・神経精神科の大森教授、そして病院のstaff、それから誰よりも快く被験者になっていただいた方々に、心から感謝申し上げます。